

20～60代の手帳を利用する男女900人に聞く

第9回『手帳に関する意識と実態調査』

何事にもポジティブな団塊60代。スマホマナーに厳しい世代は意外にも“ゆとり”世代の20代！
きょうだいに覗かれないよう手帳に秘密が多い中間子、秘密が少なく警戒心も薄い一人っ子。
手帳についてはデジタル時代に逆行し、大幅なアナログ回帰志向！

手帳・実用書を出版・販売する株式会社高橋書店(本社:東京都文京区、代表取締役社長:高橋秀雄)は、東京エリア(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)と大阪エリア(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県)に住む20代から60代までの男女900名を対象に、『手帳に関する意識と実態調査2015』を実施しました。20～60代の手帳の利用実態に加え、抱えている秘密や、属性別の意識・実態の違いを調査しました。

属性別実態

ポジティブで知識欲旺盛60代、スマホに厳しい20代、こだわりやのAB型。

■どの世代よりポジティブな、60代団塊世代は知識欲旺盛、手帳を大活用。ネガなのは団塊ジュニア、30代。

⇒「友達が多く」(46.0%)、「今に満足」(71.0%)、「ストレスが少なく」(67.0%)、「金銭的に余裕があり」(72.0%)な60代団塊世代。最もネガなのは団塊ジュニアな30代。

⇒60代は知識欲も旺盛で、手帳には「知らなかった言葉」を3割(28.0%)が記入、全体(16.8%)の2倍近い値を示す。
⇒60代は使った手帳は「5年以上保管」(62.0%)、20代(51.5%)を遥かに上回る。過去の予定や記述を参照して活用。

■「取引先の前でデジタルツール利用は失礼」が最多の20代。マナーを気にして几帳面に紙の手帳を使う。

⇒「デジタルツールでのスケジュール管理は電池切れが心配」(74.0%)だし、「取引先の前でのスマホなどデジタルツールでのスケジュール記入は失礼」(67.0%)と、ゆとり世代のはずが全世代の中で20代が最もデジタルツールに否定的。

⇒20代は「きれいな文字で」(70.0%)、「なるべく細かく」(46.0%)書き込むなど紙の手帳を丁寧に使う。

■お金をかけ、お金のことについて書き込み、こだわって手帳を利用するAB型。

⇒AB型は手帳選びにこだわりが多い。手帳に書き込む内容として「金銭管理」が多く、秘密も「金銭に関する内容」が多め。
⇒全血液型で手帳に最もお金をかけ(1,721円)、丁寧に使う。

12月の予定

年末は60代は20代より予定が多い！スケジュール管理もマメ。

■60代の方が20代よりリア充！忘年会の予定は60代>20代。決まったらすぐに書くマメさも60代>20代。

⇒忘年会の予定は60代1.45回、20代は1.03回。予定を「すぐに記入」する率は60代(90.3%)、20代「66.7%」で大きな差。
⇒クリスマスの予定は平均24.9日前、恋人のいる人は19.0日前に手帳に記入。

手帳の秘密

手帳の秘密はきょうだいの多い中間子に多く、ひとりっ子に少ない。

■95.3%が手帳に秘密を抱えている。上下のきょうだいに見られやすい中間子で多く、ひとりっ子で少ない。

⇒手帳に秘密がある人、全体では95.3%。中間子は97.2%、ひとりっ子は89.9%と大きな差。ひとりっ子は「手帳は安心」とそもそも警戒心が薄い。

■自分の秘密も他人の秘密もオープンなひとりっ子、どちらも守秘したい中間子。60代も口は堅い。

⇒他人の手帳を覗いたことのある人は全体では17.4%。ひとりっ子(28.3%)は口が軽く、中間子(17.9%)が口が堅め。
年代別でも「秘密を知ると他人に話したくなる」率は20代35.0%、60代14.0%と大きな開き。

手帳白書2015

どんな属性の人でも、大幅なアナログ手帳への回帰が進む。

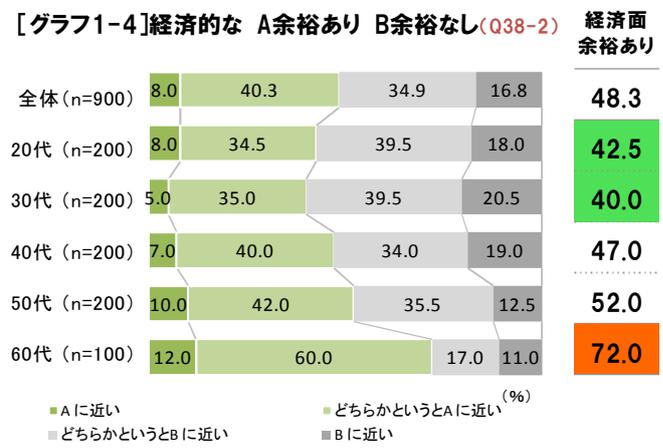
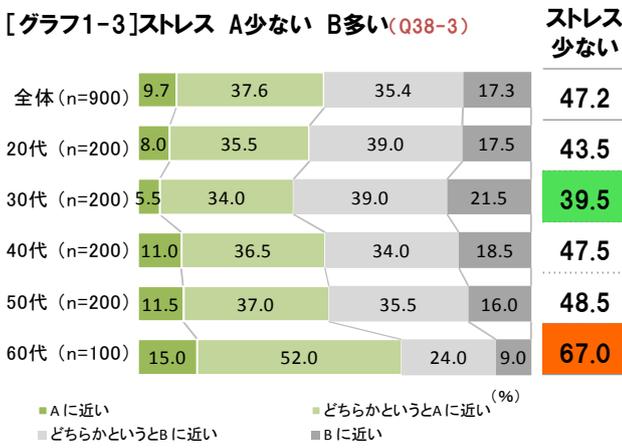
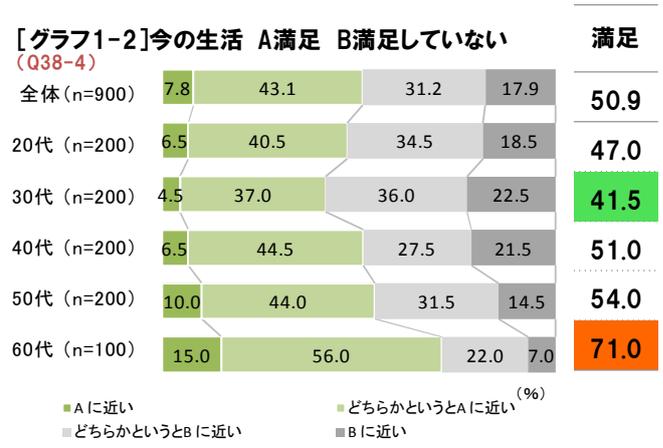
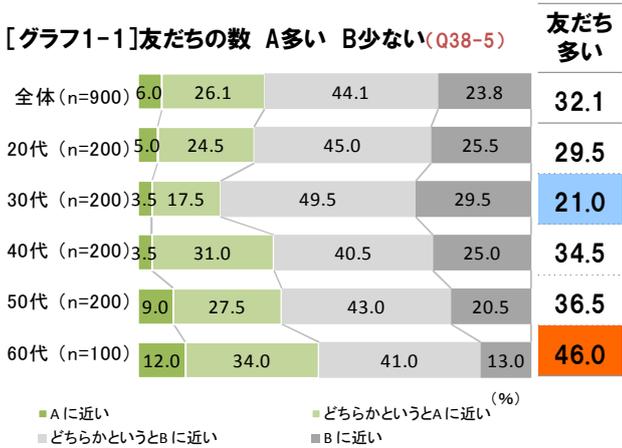
■どんな属性の人でも、大幅なアナログ回帰が進む。

⇒紙の手帳と他のスケジュール管理ツールの使い分けは、「アナログ手帳の使い分け」が最多、昨年より増加(49.1%→54.7%)。反対にスマホなどとの併用は大幅減少(33.3%→26.6%)。

■60代はどの世代よりもポジティブな、正にアクティブシニア世代！

年代による特徴を見ると、友だちが多いと答えたのは60代が46.0%と最も多く、次いで50代(36.5%)、40代(34.5%)となり、30代(21.0%)は60代の半数以下で最も低くなっています【グラフ1-1】。今の生活に対する満足度も60代が71.0%とずば抜けて高く、30代は41.5%と最下位です【グラフ1-2】。ストレスの少なさでは、60代が67.0%がストレスが少ないと答えているのに対し、30代では39.5%と低く【グラフ1-3】、経済的な余裕についても、「余裕あり」と答えたのが60代は72.0%であるのに対し、30代では40.0%、20代は42.5%と低くなっています【グラフ1-4】。

若い世代にネガティブ傾向があるのに対し、60代は何事にも前向きで、アクティブシニアと呼ぶにふさわしいいきいきとしたライフスタイルを実践しているようです。



■中間子はきょうだいに埋没するためプレゼントで歓心を買ひ、人と違うことが嬉しい。 反対にひとりっ子は人と違うと不安。末っ子は人について行く性格。

きょうだいにおける位置付けで見ると、長子は突出した傾向がなく、全てが平均的。中間子は手帳に最もお金をかけ(1,615円)[**グラフ2-1**]、プレゼントは「あげたい」(66.0%)性格[**グラフ2-2**]。人と違うと「嬉しい」(69.8%)と感じており[**グラフ2-3**]、上下のきょうだいに挟まれ人と違った個性を求め、手帳にもこだわり、プレゼントをあげるなどをして人の歓心を買いたがる傾向が見られます。対照的にひとりっ子はプレゼントは「もらいたい」(51.5%)タイプ、人と違うと「うれしくない」(43.4%)など、親に甘やかされながらもきょうだいのいる人たちと違わないよう気にする性格であることがわかりました。また、末っ子は「人についていく性格」です[**グラフ2-4**]。

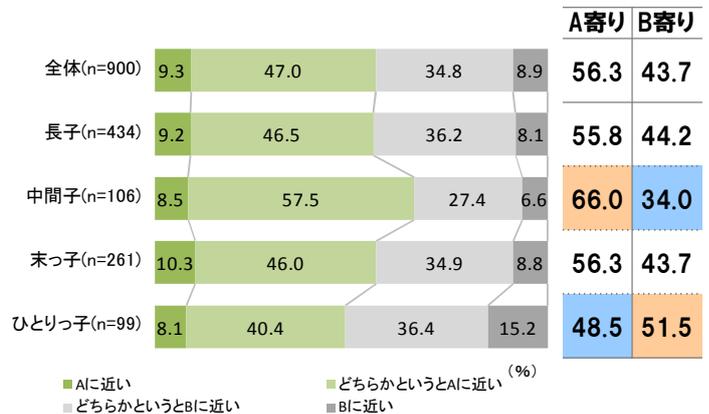
突出した特徴のない長子、個性を出したがる中間子、人に甘えたい末っ子、人に合わせたいひとりっ子、という傾向があることがわかります。

[グラフ2-1]手帳の購入金額(Q2)

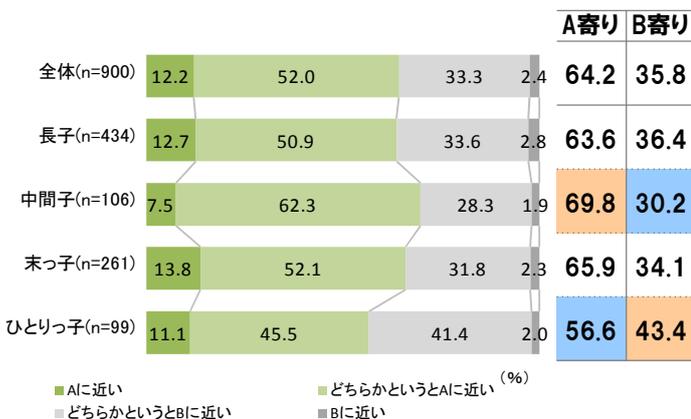
	平均(円)
全体 (n=763)	¥1,486
長子 (n=375)	¥1,575
中間子 (n=84)	¥1,615
末っ子 (n=219)	¥1,361
ひとりっ子 (n=85)	¥1,291

※「会社で配布」「会社以外で買った」「その他」回答者を除く

[グラフ2-2]プレゼントは Aあげたい Bもらいたい(Q38-8)



[グラフ2-3]人と違うと A嬉しい B嬉しくない(Q38-18)



[グラフ2-4] A人を引っ張っていく性格 B人についていく性格 (Q38-20)



■几帳面で安めの手帳を堅実に使うA型、理系が多めで細かいことは気にしないB型、熱く人を引っ張るO型、手帳にお金をかけるクールな革新タイプのAB型。

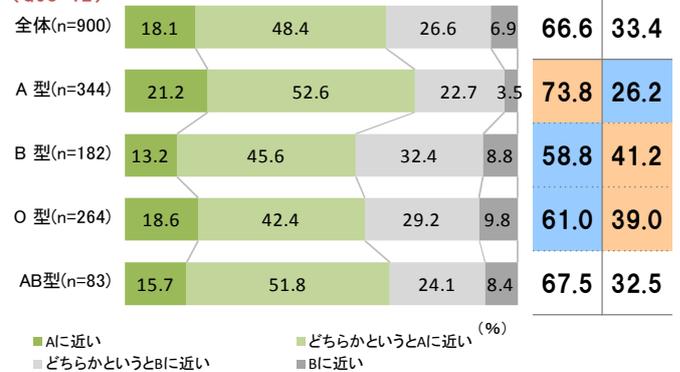
血液型で見ると、手帳の購入金額が最安値なのはA型(1,265円)、最高値なのはAB型(1,721円)[グラフ3-1]で、500円もの開きがあります。またA型は「几帳面」な性格(73.8%)で、反対にB型O型は「細かいことは気にしない」と自認する人が多いです[グラフ3-2]。「何事にも熱い」と自認するのはO型(48.9%)、反対にAB型は「何事にもクール」(66.3%)と自認しています[グラフ3-3]。また、O型は「人を引っ張っていく性格」(45.5%)と考える人が多いです[グラフ3-4]。「文系」が多いのはAB型(73.5%)、理系が多いのはB型(40.1%)で[グラフ3-5]、AB型は「革新・先進タイプ」(43.4%)と自認する人が全血液型で突出して多いです[グラフ3-6]。手帳に堅実、几帳面なA型、理系が多く細かいことは気にしないB型、熱く人を引っ張っていく性格のO型、手帳にこだわりクール、革新タイプのAB型、という傾向が見てとれます。

[グラフ3-1]手帳の購入金額(Q2)

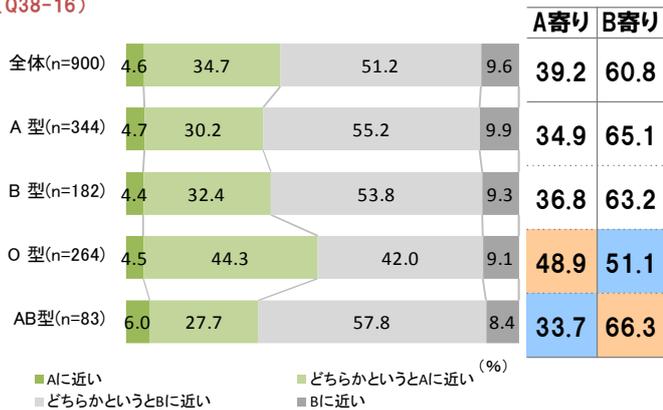
	平均(円)
全体(n=763)	¥1,486
A型(n=287)	¥1,265
B型(n=153)	¥1,525
O型(n=234)	¥1,601
AB型(n=69)	¥1,721

※「会社で配布」「会社以外で買った」「その他」回答者を除外

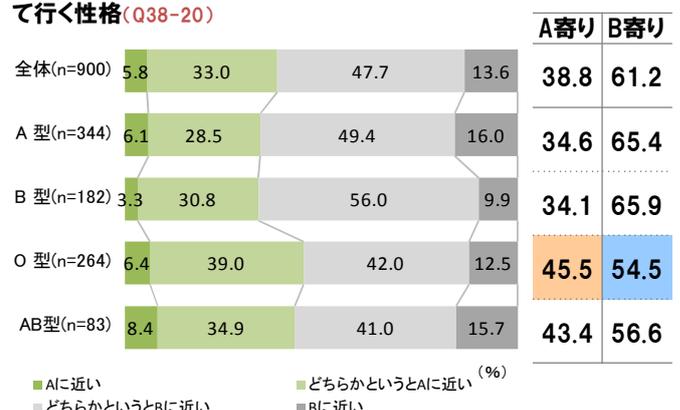
[グラフ3-2]A几帳面 B細かいことは気にしない(Q38-12)



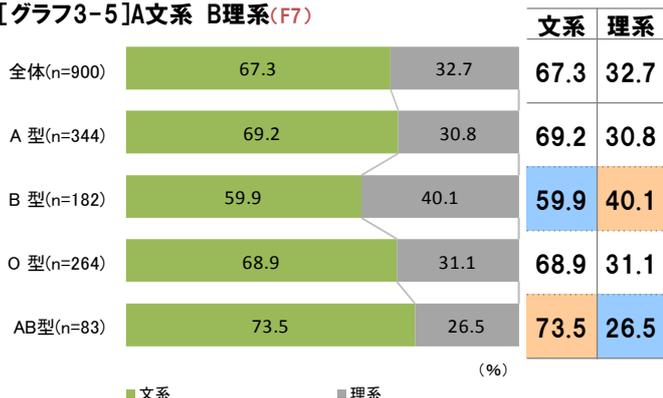
[グラフ3-3]A何事にも熱い B何事にもクール(Q38-16)



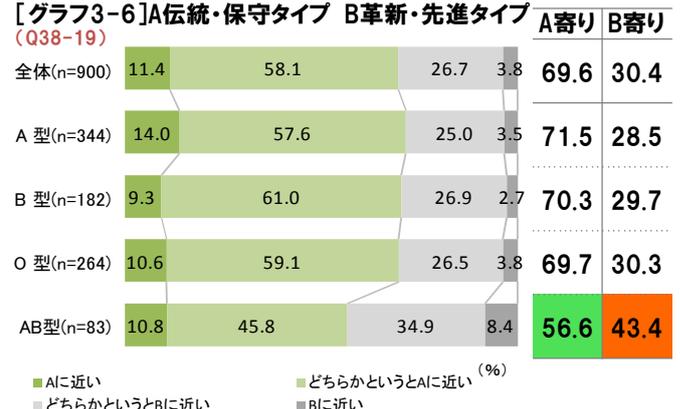
[グラフ3-4]A人を引っ張っていく性格 B人について行く性格(Q38-20)



[グラフ3-5]A文系 B理系(F7)



[グラフ3-6]A伝統・保守タイプ B革新・先進タイプ(Q38-19)



■カレンダー式は女性、20代、末っ子に人気。

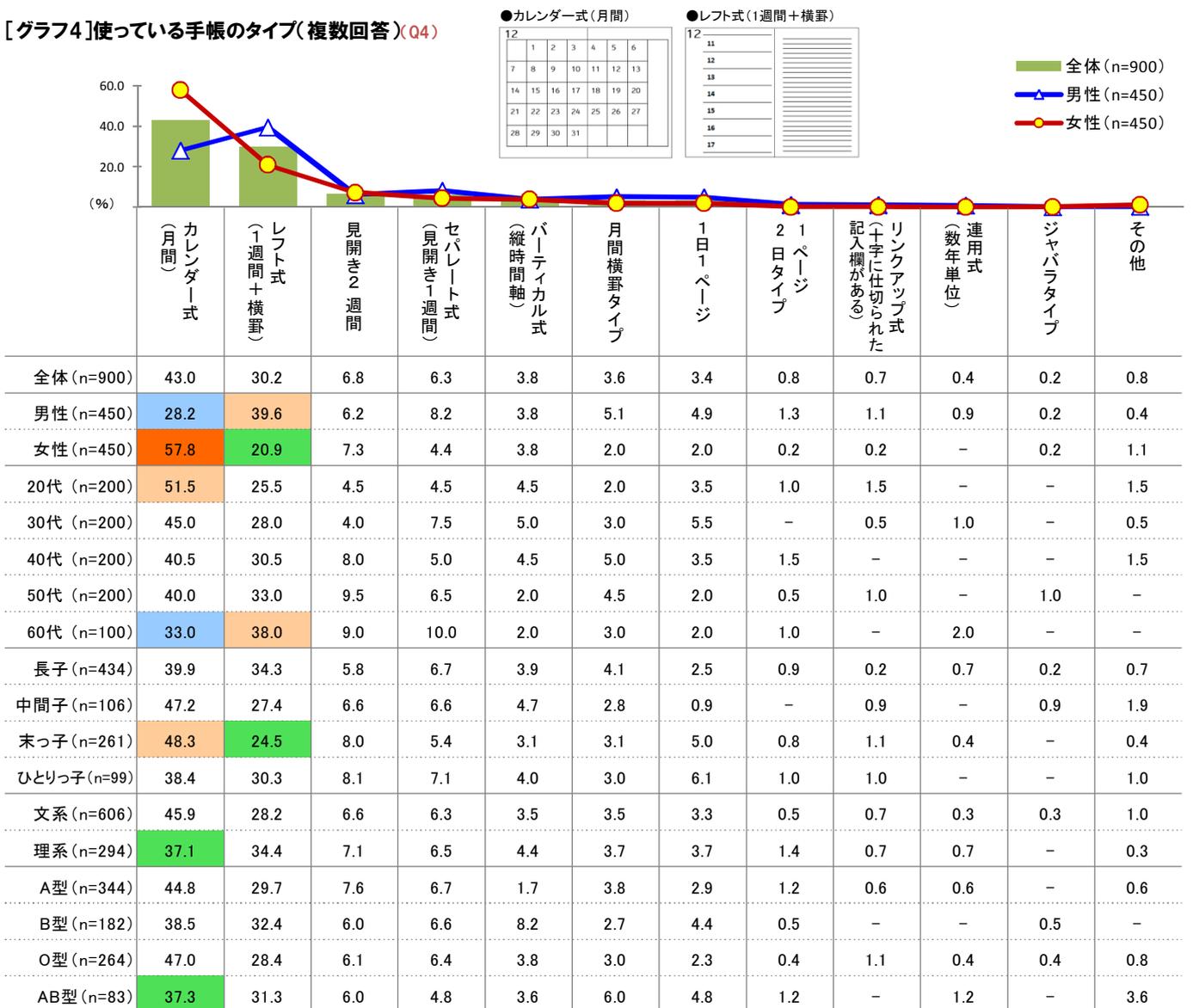
レフト式は男性、60代、理系、AB型に人気。

現在使用している手帳のタイプは、全体では「カレンダー式(月間)」(43.0%)と「レフト式(1週間+横罫)」(30.2%)が主流です。女性は「カレンダー式(月間)」(57.8%)が約6割と多いのに対し、男性は「カレンダー式(月間)」(28.2%)より「レフト式(1週間+横罫)」(39.6%)の方が多くなっています。また、20代の約半数は「カレンダー式(月間)」(51.5%)ですが、60代では「レフト式(1週間+横罫)」(38.0%)と「カレンダー式(月間)」(33.0%)がほぼ同じ割合です。

属性別に見ると、末っ子は「カレンダー式(月間)」(48.3%)の利用率が高く、逆に、理系とAB型は「カレンダー式(月間)」(理系37.1%、AB型37.3%)の利用が低めです[グラフ4]。

女性、20代、文系、末っ子はカレンダー式。男性、60代、理系、AB型がレフト式を選ぶ傾向がわかりました。

[グラフ4]使っている手帳のタイプ(複数回答)(Q4)



■女性や20代はデザインや見た目を重視、60代は機能や携帯性を重視。

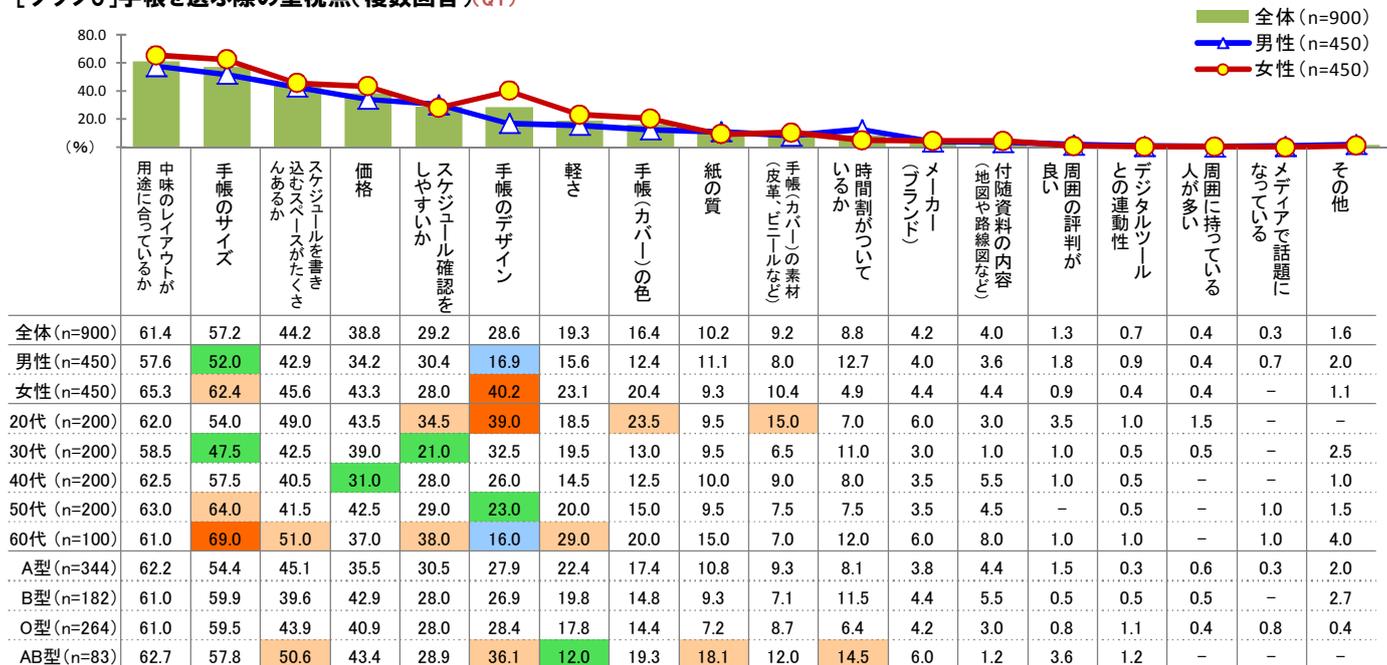
購入価格は平均で1,486円、こだわり気質のAB型の手帳が最高値。

手帳を選ぶ際の重視点は、「中味のレイアウトが用途に合っているか」(61.4%)、「手帳のサイズ」(57.2%)、「スケジュールを書き込むスペースがたくさんあるか」(44.2%)、「価格」(38.8%)、「スケジュール確認をしやすいか」(29.2%)、「手帳のデザイン」(28.6%)の順になりました。男女別で見ると、女性は「サイズ」(62.4%)や「デザイン」(40.2%)を気にするのに対し、男性は「デザイン」(16.9%)を気にする人は2割以下です。また、年代別で見ると、20代は「デザイン」(39.0%)や「カバーの色」(23.5%)、「カバーの素材」(15.0%)などの見た目を重視するのに対し、60代では「デザイン」(16.0%)を気にする人は少なく、「スケジュールを書き込むスペースがたくさんあるか」(51.0%)、「スケジュール確認をしやすいか」(38.0%)などの機能や「手帳のサイズ」(69.0%)や「軽さ」(29.0%)などの携帯性を重視しています。

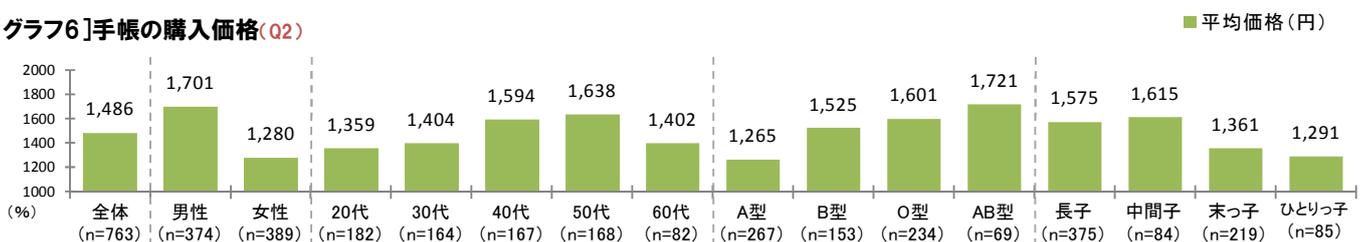
血液型別にみると、AB型が特徴的で、「軽さ」(12.0%)は気にしない反面、「スケジュールを書き込むスペースがたくさんあるか」(50.6%)、「デザイン」(36.1%)、「紙の質」(18.1%)、「時間割がついているか」(14.5%)などチェック項目が多くなっています[グラフ5]。

手帳の購入価格をみると、全体平均は1,486円となり、女性(1,280円)より男性(1,701円)の方が高く、20代(1,359円)が全年代で最も安い手帳を使っています。血液型別では、A型が最安値(1,265円)で、何かとこだわりの多いAB型(1,721円)と500円近くの差があり、財布の紐の堅さがうかがえます。きょうだい別では中間子(1,615円)が最も高い手帳を使用、ひとりっ子(1,291円)が最安値でした[グラフ6]。

[グラフ5]手帳を選ぶ際の重視点(複数回答)(Q1)



[グラフ6]手帳の購入価格(Q2)



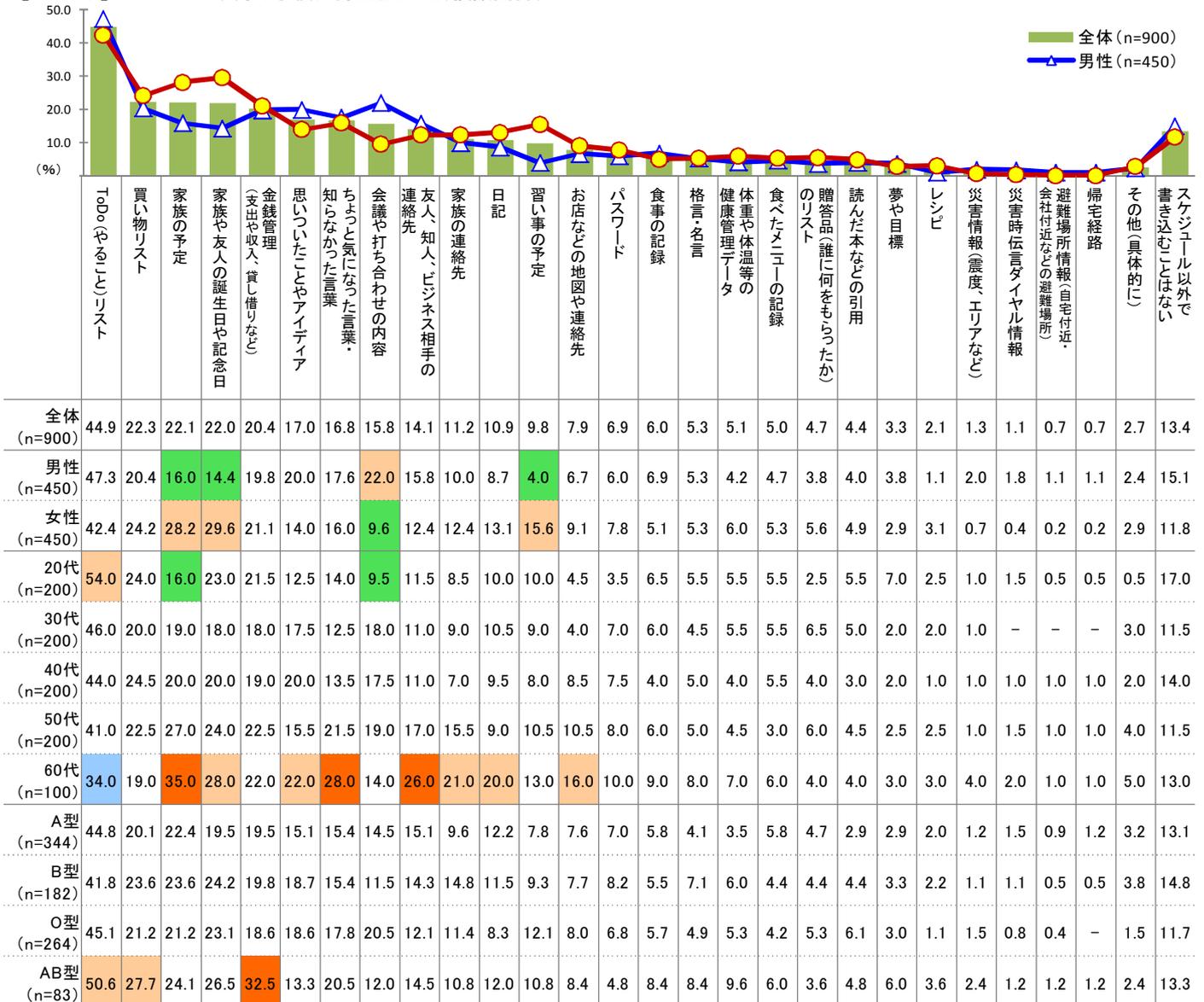
全体と比較して +10pt以上 +5pt以上 -10pt以下 -5pt以下 N=20未満を除く

■スケジュール以外で手帳に書くのは、ToDoリスト。女性は家族関係、男性は仕事関係が多く、60代は「知らない言葉」も書く。AB型の3人に1人は金銭管理を手帳で行う。

手帳にスケジュール以外で書き込むことは、「ToDo(やること)リスト」(44.9%)、「買い物リスト」(22.3%)、「家族の予定」(22.1%)、「家族や友人の誕生日や記念日」(22.0%)、「金銭管理(支出や収入、貸し借りなど)」(20.4%)などで、女性は、「家族や友人の誕生日や記念日」(29.6%)や「家族の予定」(28.2%)、「習い事の予定」(15.6%)などプライベートな事柄を書き込むのに対し、男性は「会議や打ち合わせの内容」(22.0%)を書く人が多くなっています。

年代別で見ると、60代は「家族の予定」(35.0%)や「友人らの連絡先」(26.0%)、「ちょっと気になった言葉・知らなかった言葉」(28.0%)まで、実にさまざまなことを手帳に書き込んでいます。知らなかった言葉を書き込むのは、いくつになっても知的好奇心が高いことの表れかもしれません。血液型で見ると、やはりAB型が特徴的で、3人に1人は「金銭管理(支出や収入、貸し借りなど)」(32.5%)を手帳に記入しており、「ToDo(やること)リスト」(50.6%)、「買い物リスト」(27.7%)の記入率も高めです[グラフ7]。

[グラフ7]スケジュール以外で手帳に書き込むこと(複数回答)(Q6)



全体と比較して +10pt以上 +5pt以上 -10pt以下 -5pt以下 N=20未満を除く

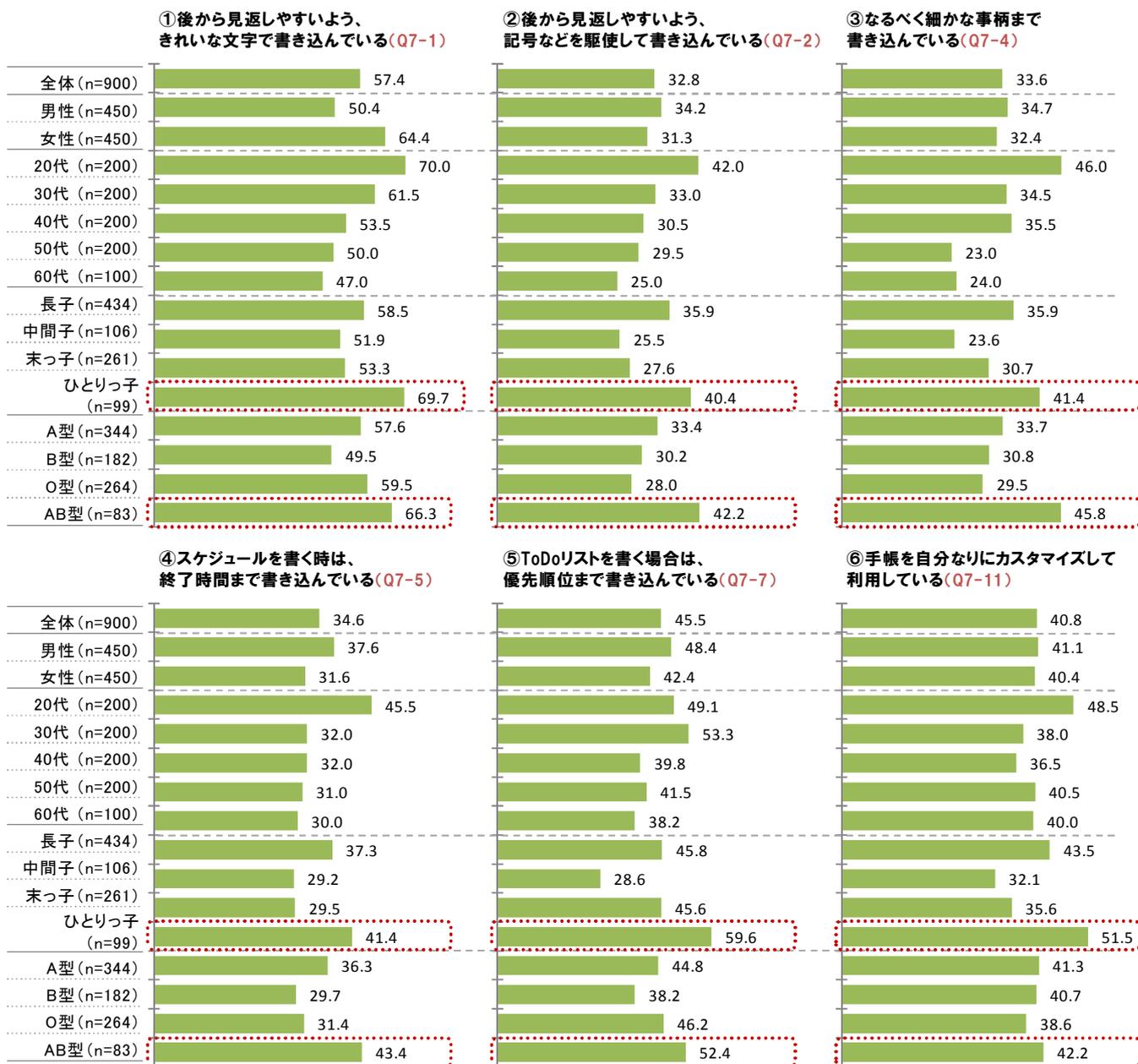
■きれいにきちんと手帳を使う20代。詳細さにこだわる男性、きれいさを重視する女性。

一人っ子、AB型も手帳をきれいにつかうこだわり派。中間子末っ子、B型O型は無頓着。

日頃の手帳の使い方について聞くと、「後から見やすいようにきれいな文字で書き込む」「記号などを駆使して書き込む」「細かな事柄まで書き込む」「スケジュールは終了時間まで書き込む」「自分なりにカスタマイズする」の5項目において20代がいちばん高率で、「優先順位まで書き込む」でも2位と、若い年代で手帳を丁寧に使う傾向にあります。きょうだいにおける位置付けで見ると、ひとりっ子はきれいに細かく書き込み、カスタマイズして利用する傾向があるのに対し、中間子と末っ子はさほど気を使わないようです。また、血液型で見るといずれもAB型のこだわりが高くなっています。

また、女性はきれいな文字で書き込むの対し、男性は文字のきれいさより、記号などを駆使し詳細まで優先順位をつけて書き込み、自分が使いやすいようカスタマイズして使う傾向があるようです[グラフ8]。

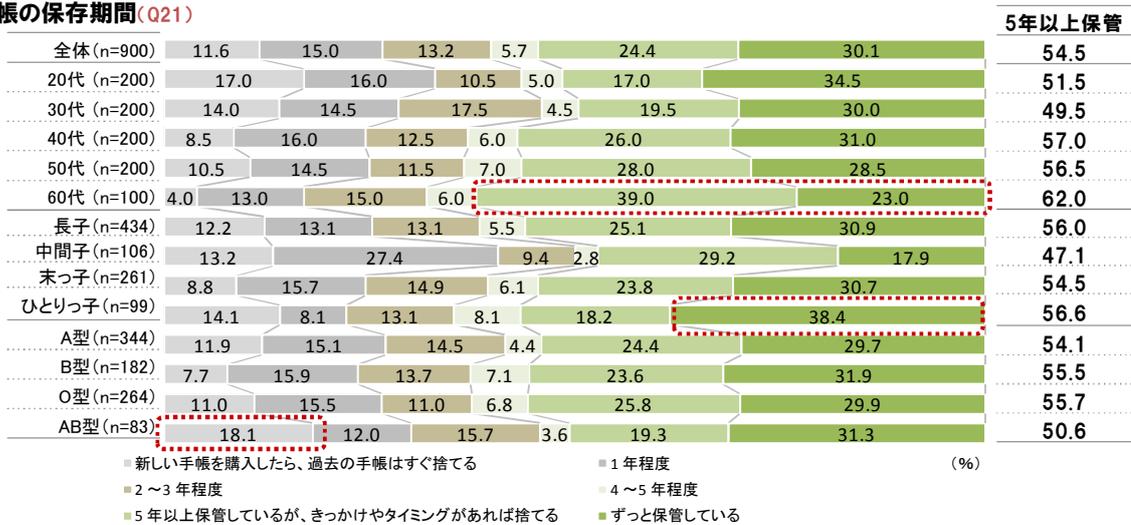
[グラフ8] 手帳利用の際に気を付けていること(Q7)



■半数以上が手帳を「5年以上」保管。60代は過去の振り返りツールとして活用している。 ひとりっ子は手帳に「日記をつけているから」長期保管。

手帳の保管期間を聞くと、「5年以上保管」が54.5%と過半数を占めています。年代別では、20代は「新しい手帳を購入したら、過去の手帳はすぐ捨てる」(17.0%)という意見が多い一方、60代は「すぐ捨てる」はわずか4.0%で、6割が「5年以上保管」(62.0%)しています。きょうだいにおける位置付けで見ると、中間子が「ずっと保管」(17.9%)する割合が低いのに対し、ひとりっ子は約4割が「ずっと保管」(38.4%)しています。血液型では、AB型が「すぐ捨てる」(18.1%)と合理的なのに対し、B型は「ずっと保管」(31.9%)する傾向があります[グラフ9-1]。

[グラフ9-1]手帳の保存期間(Q21)

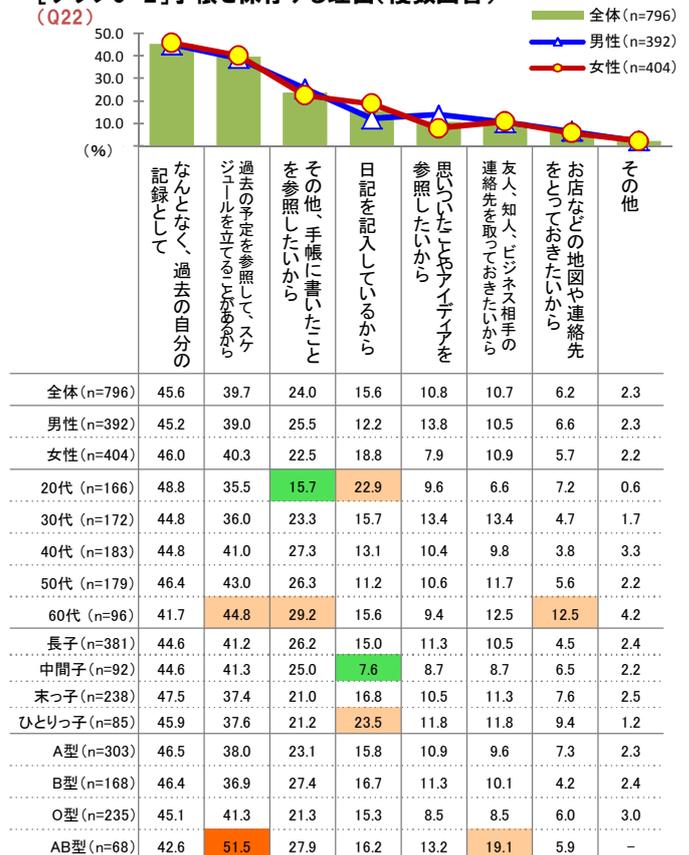


手帳を保管する理由は、「なんとなく、過去の自分の記録として」(45.6%)、「過去の予定を参照して、スケジュールを立てることがあるから」(39.7%)、「その他、手帳に書いたことを参照したいから」(24.0%)、「日記を記入しているから」(15.6%)などがあげられました。年代別で見ると、20代は「日記を記入しているから」(22.9%)保存するのに対し、過去の蓄積がたくさんある60代は「過去の予定を参照」(44.8%)や「手帳に書いたことを参照したい」(29.2%)など過去の振り返りツールとして手帳を保存しています。

きょうだいにおける位置付けで見ると、ひとりっ子は「日記を記入しているから」が23.5%と高く、手帳に日記をつけるからずっと保管しているようです。

血液型別では、AB型は「過去の予定を参照してスケジュールを立てる」(51.5%)という意見が多く、半数を超えています[グラフ9-2]。

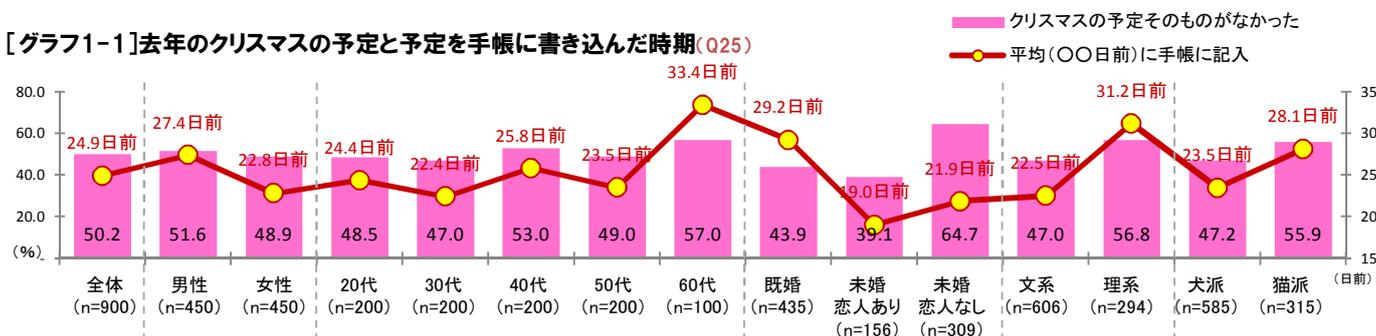
[グラフ9-2]手帳を保存する理由(複数回答)(Q22)



■クリスマスの予定は平均24.9日前に手帳に記入。恋人のいる独身は19.0日前と最も遅い。理系、猫派で「予定がない」人が多め。

年末のビッグイベントといえばクリスマスですが、去年のクリスマスの予定を手帳に書いた時期について聞いてみました。すると平均でクリスマスの24.9日前となり、12月の声を聞くとすぐにクリスマスの予定が決まるのが一般的なようです。クリスマスの予定が最も早く決まるのは60代の33.4日前で、11月中には予定が確定しています。一方、最も直前に決まるのが恋人がいる独身者で19.0日前。お互いクリスマスを一緒に過ごす予定でいるものの、具体的なことは直前に、ということでしょうか。また、全体の半数が「クリスマスの予定そのものがなかった」(50.2%)と回答、恋人がいない独身者では64.7%が“クリぼっち”を過ごしたようです。また文系(47.0%)よりも理系(56.8%)、犬派(47.2%)よりも猫派(55.9%)の方がクリスマスの予定がない人が多くなっています[グラフ1-1]。

[グラフ1-1] 去年のクリスマスの予定と予定を手帳に書き込んだ時期(Q25)



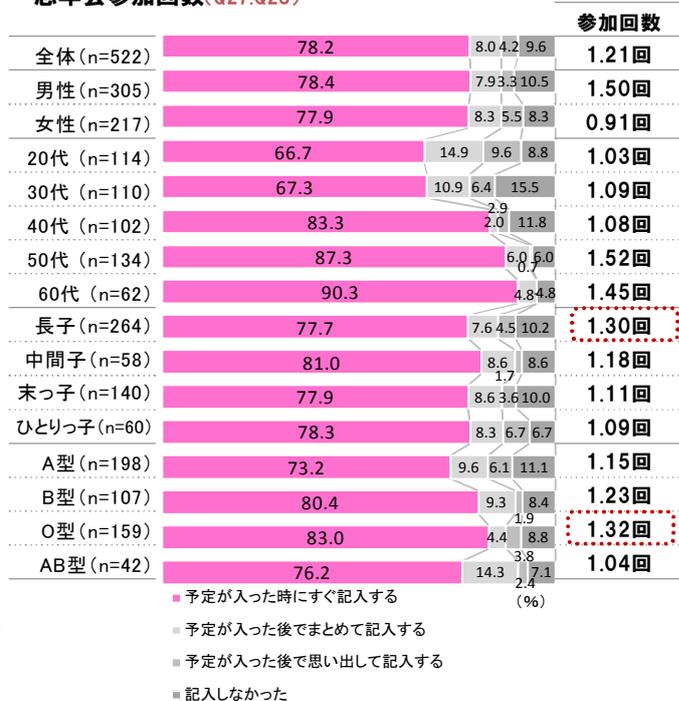
■忘年会、予定が入ったらすぐ手帳に書く方が、参加回数も多い傾向に。

20代(1.03回)より60代(1.45回)の方が回数が多い。長子、O型も回数が多い。

同様に昨年の忘年会について、忘年会に参加した人に予定を手帳に書き込んだタイミングを聞くと、「予定が入った時にすぐ記入する」(78.2%)のが一般的です。しかし、20代では「予定が入った後でまとめて記入」(14.9%)したり、「予定が入った後で思い出して記入する」(9.6%)ことも少なくありません。30代では15.5%が「記入しなかった」と答えています。一方60代は、90.3%が「すぐ記入」しています。忘年会の参加回数は、平均で1.21回となり、女性(0.91回)より男性(1.50回)の方が多く、年代別では回数が最も少ないのが20代で1.03回、最も多いのは50代の1.52回です。リタイア後の60代も1.45回と多く、アクティブシニアぶりを発揮しています。

きょうだいにおける位置付けでは、長子の忘年会参加回数が1.30回と最多、長子としての義理堅さを感じられます。血液型別では忘年会の予定を「すぐ記入」(83.0%)する人が多いO型が、参加数も一番多く1.32回でした。AB型は「予定が入った後でまとめて記入」(14.3%)する人が多くなっています[グラフ1-2]。

[グラフ1-2] 去年の忘年会の予定を手帳に書くタイミングと忘年会参加回数(Q27,Q28)



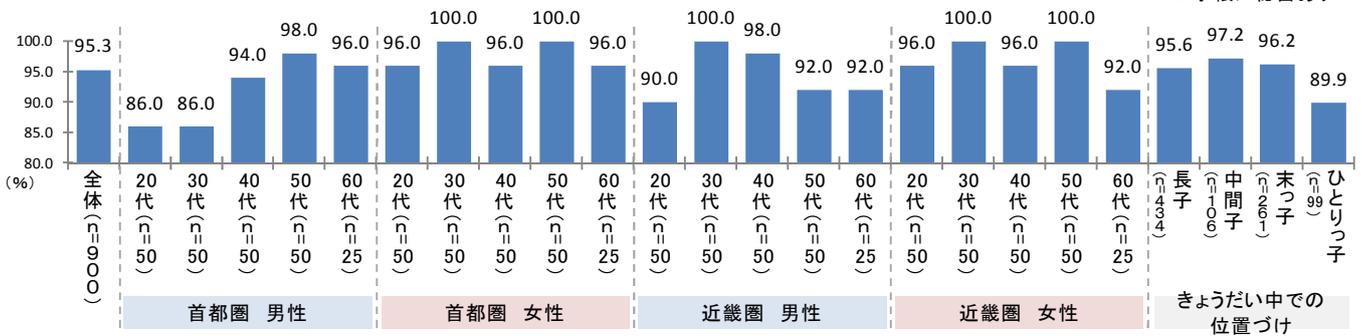
■手帳に秘密が少ない首都圏20代・30代男性。30代・50代女性は東西とも100%秘密あり。 ひとりっ子はのぞかれる経験がないから、見られる抵抗感が薄い？

次に、手帳に書いた秘密について聞いてみました。手帳を見られることに抵抗があるかどうかを聞くと、「全くない」を除いた“抵抗がある”人、つまり手帳に秘密を抱えている人は、全体の95.3%に上りました。

これをエリア別の性・年代別で見ると、秘密が最も少ないのは首都圏の20代、30代の男性（ともに86.0%）で、同世代の近畿圏30代男性が100%秘密があるのとは対照的です。一方、女性は、首都圏30代と50代、近畿圏30代と50代がいずれも100%秘密があります。きょうだいにおける位置付けで見ると、ひとりっ子（89.9%）は手帳を見られることの抵抗感が低いのに対し、中間子（97.2%）は高めです。きょうだいから干渉されずに育ったひとりっ子は隠す意識が少なく、中間子は上下のきょうだいから見られる環境で育ったため、余計に隠したいのでしょうか【グラフ1】。

【グラフ1】手帳を見られることへの抵抗感(Q11)

手帳に秘密あり=手帳を見られることへの抵抗感が「とてもある」「ややある」「あまりない」と答えた人
■手帳に秘密あり

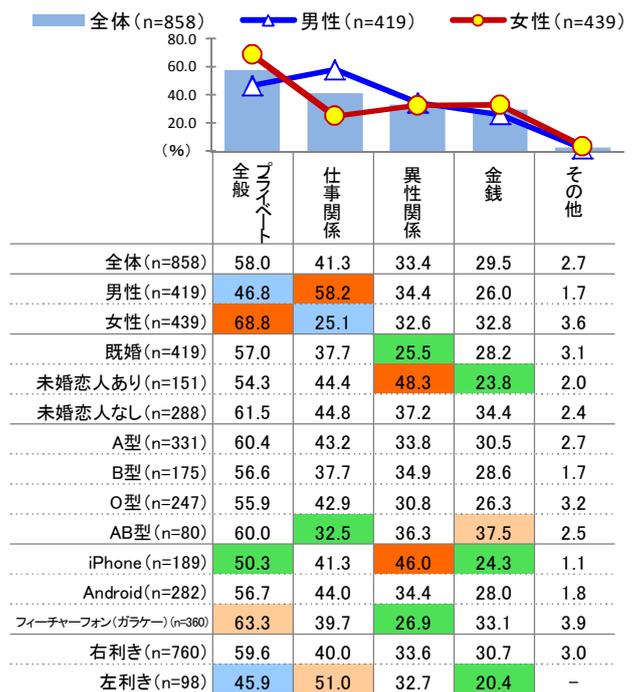


■手帳の秘密、男性は仕事、女性はプライベート。恋人ありの独身者とiPhoneユーザーは異性関係の秘密が多く、AB型の方は手帳にお金の秘密を書く人が多い。

手帳に秘密があると答えた858人を対象に手帳の秘密の内容を聞くと、「(異性関係をのぞく)プライベート全般」(58.0%)、「仕事関係」(41.3%)、「異性関係」(33.4%)、「金銭」(29.5%)の順となりました【グラフ2】。男性は「仕事関係」(58.2%)が最も多いのに対し、女性は「プライベート全般」(68.8%)がトップ。未婚別では、恋人のいる独身者の約半数が「異性関係」(48.3%)の秘密を手帳に書き留めていますが、既婚者でも4人に1人(25.5%)は「異性関係の秘密」があるようです。

血液型で見ると特徴的なのがAB型。「仕事関係」(32.5%)の秘密は少ないのに対し、「金銭」(37.5%)に関する秘密は多く、手帳に「金銭管理」について書き込む人が多いことと関係がありそうです。利用する携帯電話の種類別に見ると、iPhoneユーザーは「異性関係」(46.0%)の秘密が多く、フィーチャーフォン(ガラケー)ユーザー(26.9%)の倍近く高くなっています。また、左利きの人は「仕事関係」(51.0%)の秘密が多いのに対し、「プライベート」(45.9%)の秘密は少なめです。

【グラフ2】手帳の秘密の内容(複数回答)(Q12)



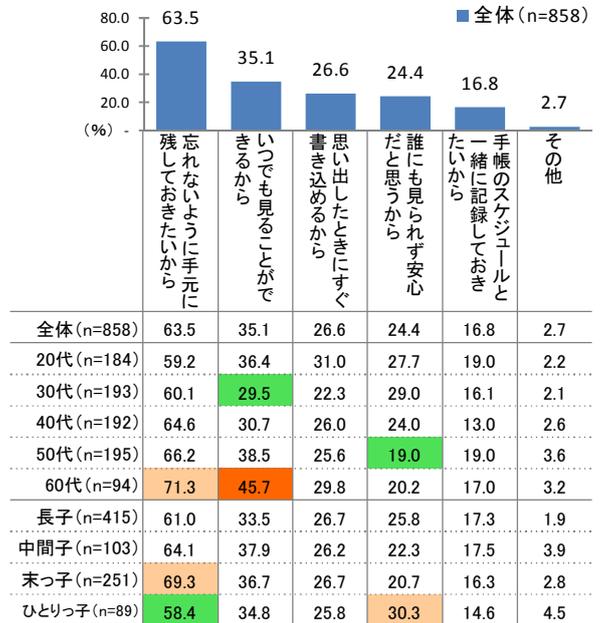
全体と比較して +10pt以上 +5pt以上 -10pt以下 -5pt以下 N=20未満を除く

■60代にとって手帳は便利で身近な生活備忘録。きょうだいの中で、末っ子は手元に残したいから手帳に“こっそり”書き、ひとりっ子は誰にも見られないから“堂々と”書く。

手帳を見られるかもしれないのに秘密を書く理由を聞くと、「忘れないように手元に残しておきたいから」(63.5%)が最も多くあげられました。年代別では60代で「忘れないように手元に残しておきたいから」(71.3%)や「いつでも見ることができるから」(45.7%)という理由が他の世代より多く、手帳が日常生活での備忘録として活用されていることがわかります。

きょうだいにおける位置付けで見ると、末っ子は「忘れないように手元に残しておきたいから」(69.3%)という理由が多いのに対し、ひとりっ子は「誰にも見られず安心だと思うから」(30.3%)が多くなっています。前述の通り、手帳を見られることに抵抗感の低いひとりっ子([グラフ2]参照)。兄弟姉妹の中で育った人と比べひとりっ子は、手帳は中味を見られず安心なものと思っているようです[グラフ3]。

【グラフ3】見られるかもしれないのに手帳に秘密を書く理由(複数回答)(Q15)



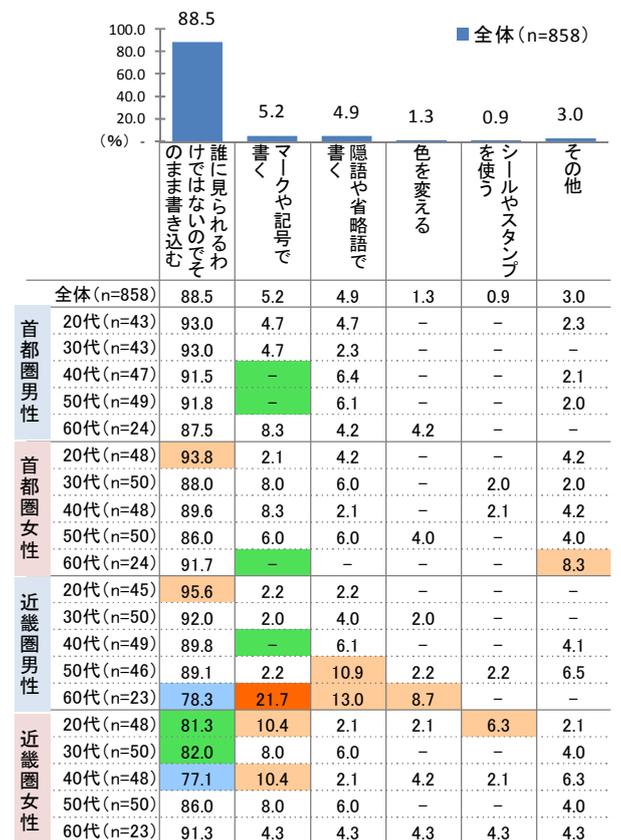
■秘密のことでもそのまま書き込む人が多い。意外にも首都圏20代女性が「そのまま書き込む」率が高く、近畿圏60代男性はマークや記号を駆使。

手帳に秘密を書き込むときの工夫を聞くと、「マークや記号で書く」(5.2%)や「隠語や省略語で書く」(4.9%)工夫をしている人もいますが、ほとんどの人が「誰にも見られるわけではないのでそのまま書き込む」(88.5%)と答えています。手帳を見られることは嫌なものの、特に対策をとるわけでもなく、他人の手帳は見ないという大人のマナーが前提となっているようです[グラフ4]。

首都圏の20代女性は秘密を見られるのを特に気にしそうですが、「そのまま書き込む」が93.8%と高く、意外な結果でした。

首都圏より近畿圏の方が工夫する人が多いようで、特に近畿圏の60代男性は、5人に1人が「マークや記号で書く」(21.7%)と答えており、「隠語や省略語」(13.0%)、「色を変える」(8.7%)なども多用し、絵文字の多いカラフルな手帳を携えているようです。

【グラフ4】手帳に秘密を書くときの工夫(複数回答)(Q16)



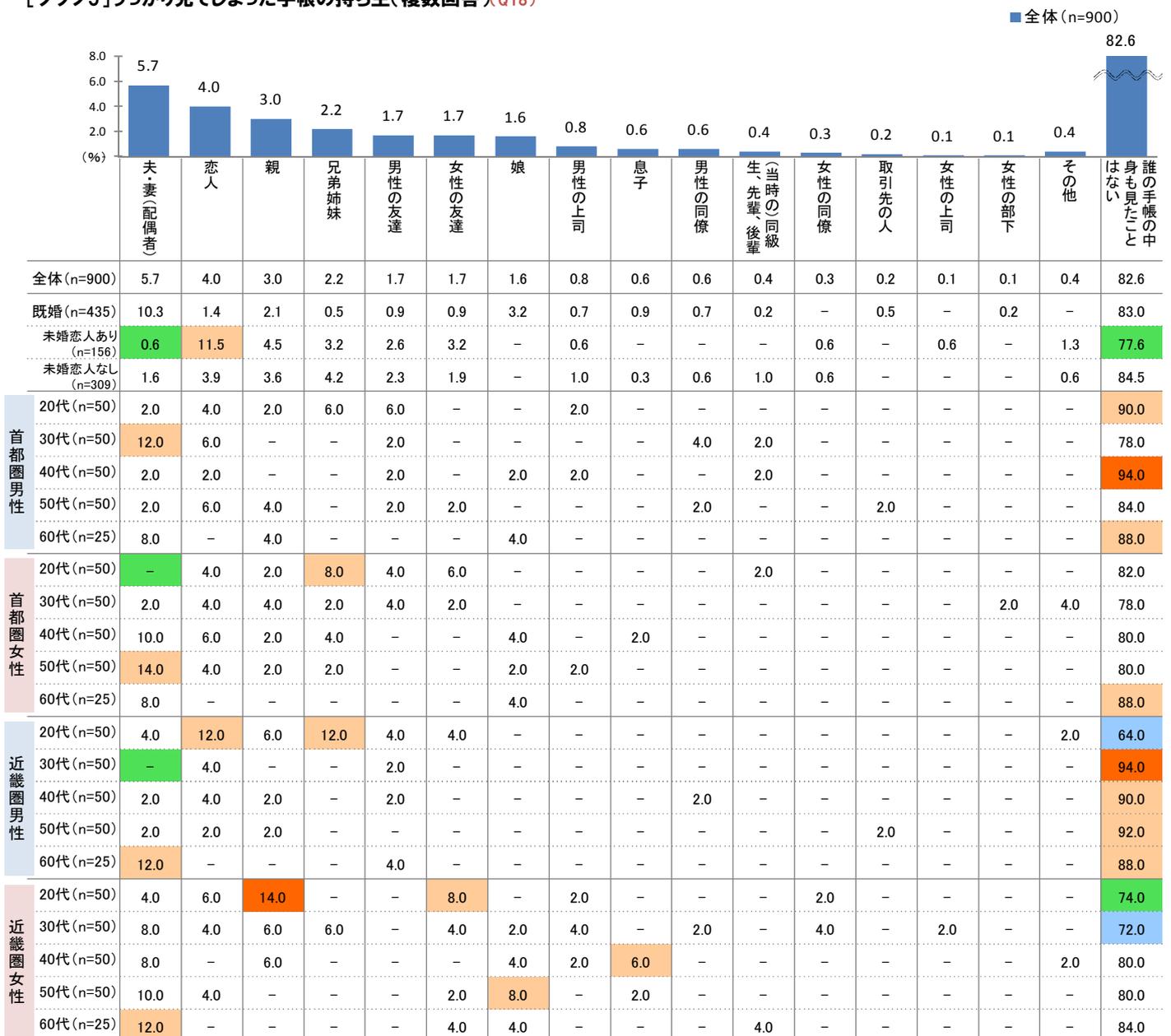
全体と比較して +10pt以上 +5pt以上 -10pt以下 -5pt以下 N=20未満を除く

■ついのぞきたくなる他人の手帳。17.4%にのぞき見経験あり。

つい見てしまうのは恋人の手帳。恋人同士の1割が恋人の手帳ののぞき見経験あり。

自分以外の人の手帳を見てしまった経験を聞くと、ほとんどの人が「誰の手帳の中身も見たことはない」(82.6%)と答えています。残りの17.4%がのぞき見経験があります。見てしまった相手は「配偶者」(5.7%)や「恋人」(4.0%)で、恋人がいる人では約1割が「恋人」(11.5%)の手帳をのぞき見しています。妻の手帳を見てしまうのは、首都圏30代男性と近畿圏60代男性(ともに12.0%)、夫の手帳を見てしまうのは、首都圏50代女性(14.0%)と近畿圏60代女性(12.0%)。恋人の手帳を見てしまうのは、近畿圏20代男性(12.0%)に多く、近畿圏20代女性は「親」(14.0%)の手帳を見てしまうようです[グラフ5]。

[グラフ5]うっかり見てしまった手帳の持ち主(複数回答)(Q18)



全体と比較して +10pt以上 +5pt以上 -10pt以下 -5pt以下 N=20未満を除く

手帳からバレてしまった秘密や、人の手帳を覗いて知ってしまった秘密について、具体的なエピソードをあげてもらったところ、やはりバレるのも知ってしまうのも浮気が多く、様々なエピソードがあげられました。手帳には悲喜こももがつまっているようです【表1】。

【表1】手帳からバレた／知ってしまった秘密のエピソード(自由回答)(Q17)(Q19)

※原文のまま引用

【プライベートに関する内容(異性関係)】

付き合っていることがバレた／知った

- ・彼氏の名前を手帳に書いていたのを友達に見られて、付き合っているのがバレた。<29歳女性>
- ・デスクの上に置いてあった娘の手帳を見て彼氏がいる事を知った。<49歳女性>
- ・友人が先輩と付き合っているプリクラが入っていて、それを見てしまった。<24歳女性>

好きな人がバレた

- ・親に好きな人に関することを書いていたのを見られた。いろいろ門限とかきつくなったり、たばこのにおいなどチェックされるようになり嫌な思いをした。<32歳女性>
- ・親が勝手に終わった年号の手帳を見て誰が好きだったとかがバレたこと。<47歳女性>

浮気がバレた／相手に浮気されていることを知った

- ・過去、留守中に彼氏が見て浮気がばれた。<46歳女性>
- ・昔彼氏と付き合っている時に学校の予定があるという会わなかったのに、実際は男友達との予定が合って会って後日勝手に手帳を見られバレて喧嘩になった事がある。<26歳女性>
- ・他の子とデートしたのが見つかって修羅場でしたね。<35歳男性>
- ・上司の手帳が置きっぱなしになっていて、つい見てしまったら、不倫の予定が書かれていた。<35歳女性>

浮気じゃないけど…?

- ・夫が手帳を広げたまま居眠りをしていた時、何気なくのぞくと、当時流行ったテレクラの会員証が挟んであった。捨ててやった、あはは。<65歳女性>
- ・元カレが出会い系をやっていたこと。<52歳女性>
- ・彼女の手帳に男性遍歴が書いてあった。<36歳男性>

交際相手の個人情報バレた

- ・同僚に見られ、彼の家の住所を書きとめていたので、最寄の駅等に張られ、品定めされたこと。<35歳女性>

【プライベートに関する内容(異性関係以外)】

ウソの予定がバレた／知った

- ・お母さんに友達と遊びにいくと言いながら彼氏と会っていたのを、手帳に書いていたので、ばれました。<21歳女性>
- ・主人が出張だと言っていた旅行が友人との観光旅行であったこと。<56歳女性>

借金／貯金がバレた

- ・借金がばれた。<48歳男性>
- ・無駄使いした金額を書き込んだらばれた。<33歳女性>
- ・その日は机の上に置き忘れたまま外出してしまいました。出先から戻ってくると母に「あんた立派ねえ、結構な額貯めてるんじゃない」と言われ、どうして貯金額を知っているのが驚きました。母は私の部屋を掃除している最中に、机の上に置いた手帳の中身を見ていました。私が激怒したので、以降母は私の部屋を掃除することはなくなりました。<26歳女性>

秘密にしたかった予定がバレた

- ・大学の知り合いに手帳のスケジュール欄の学生時代の友達打ち上げがあることがばれてしまい、しつこくLINEがきてしまった。<20歳男性>
- ・手帳に通院日を書いて「カウンセリング」と書いたのを、職場の休憩所に手帳を忘れた際に拾った同僚に私が心療内科に通院してる事がばれた。<40歳女性>

家族の秘密を知った

- ・姉の手帳をうっかり見てしまい、私の知らないところで家族関係で悩んでいることを知った。<47歳女性>

【仕事に関する内容】

嘘について会社をサボったことがバレた

- ・手帳に1万負けたと記入していたので、日付で仕事中にギャンブルに行ったことはばれた。社長にばれた。<40歳男性>
- ・会社を体調不良で半休したけど、デスク上の卓上カレンダーにおもいっきり目立つように印をつけて、仮病がばれた！<29歳女性>

自分への評価を知った

- ・上司の自分への評価を見たことでモチベーションが下がった。<31歳女性>

■誰かに話したくなる他人の秘密。20代の2倍以上60代は口が堅い。

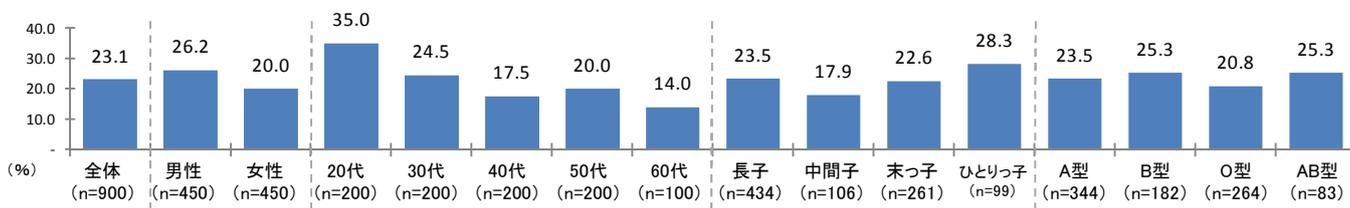
一方女性より男性の方が口が軽いという意外な結果。

自分の秘密も他人の秘密もオープンなひとりっ子、どちらも守秘したい中間子。

他人の秘密を知ってしまったら誰かに話したくなるか聞いたところ、4人に1人は「話したくなる」(23.1%)と答えています。男女別でみると、女性(20.0%)より男性(26.2%)の方が口が軽いという結果に。噂話好きと言われる女性ですが、意外と口は堅いようです。年代別では20代(35.0%)が3人に1人が話したくなると回答しているのに対し、60代は14.0%と大人のマナーとして秘密を守るようです。きょうだい別では、ひとりっ子(28.3%)は口が軽く、中間子(17.9%)が口が堅めです。前述[グラフ1]の通り、ひとりっ子(89.9%)は手帳を見られる抵抗感が弱い分、口も軽いオープンな性格。一方中間子は抵抗感が強く(97.2%)、自分の秘密も他人の秘密も守りたいようです。血液型ではO型は口が堅い(20.8%)傾向となりました[グラフ6]。

[グラフ6]秘密を知ると他人に話したくなる(Q38-7)

■秘密を知ると他人に話したくなる



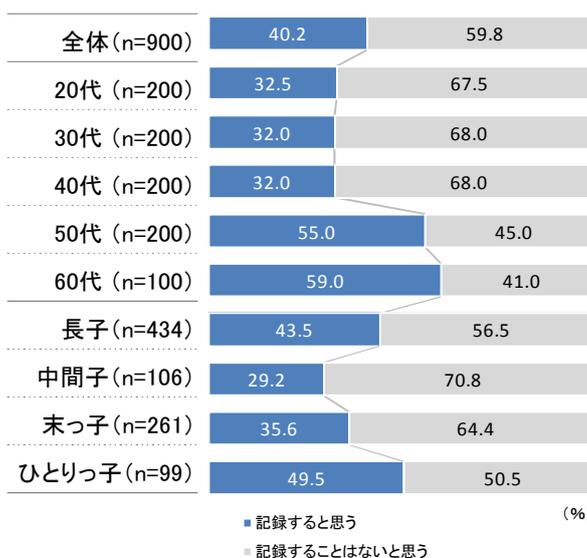
■マイナンバー、手帳に記録するのは約4割。若年層は記録しない人が多いが、50代・60代は記録率が増える。半数が記録するひとりっ子に対し、中間子は7割が記録しない。

今年10月に通知され、2016(平成28)年から運用されるマイナンバーですが、このマイナンバーを手帳に記録するかどうか聞くと、「記録すると思う」(40.2%)が約4割、「記録することはないと思う」(59.8%)が約6割となり、記録しない人の方が多くなっています。年代別では、若い世代は「記録しない」が多いのに対し、50代・60代では「記録する」が多くなっています。

きょうだい関係で見ると、中間子は「記録しない」(70.8%)が平均より10ポイントも高く、逆にひとりっ子は約半数が「記録する」(49.5%)と答えています[グラフ7]。

上記の秘密保持と同様、きょうだいからのぞかれた経験がないひとりっ子は情報管理も緩やかですが、きょうだいからのぞかれる環境で育った中間子はセキュリティ意識が高めです。

[グラフ7]マイナンバーを手帳に記録するか(Q29)



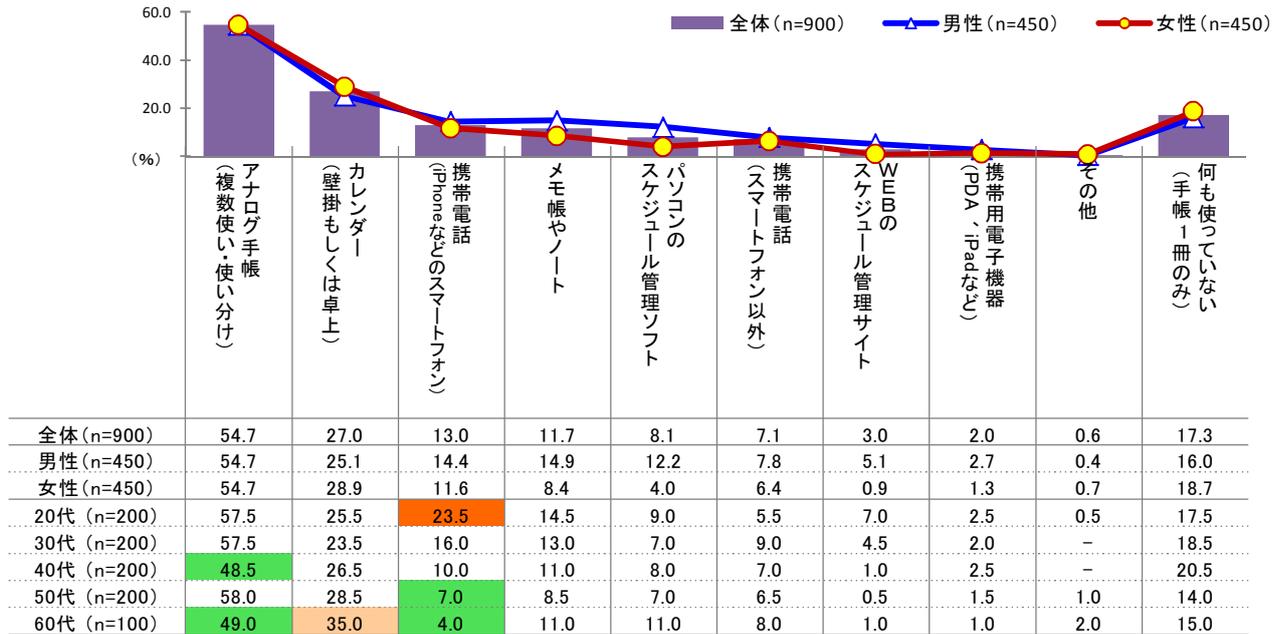
■スケジュール管理は「アナログ手帳」の使い分けが最多、20代でもスマホ併用率は23.5%。 デジタル併用派はほぼ半減し、去年から引き続きアナログ回帰傾向に。

高橋書店では毎年「手帳白書」として、手帳の利用実態の変化などについて調査をしています。

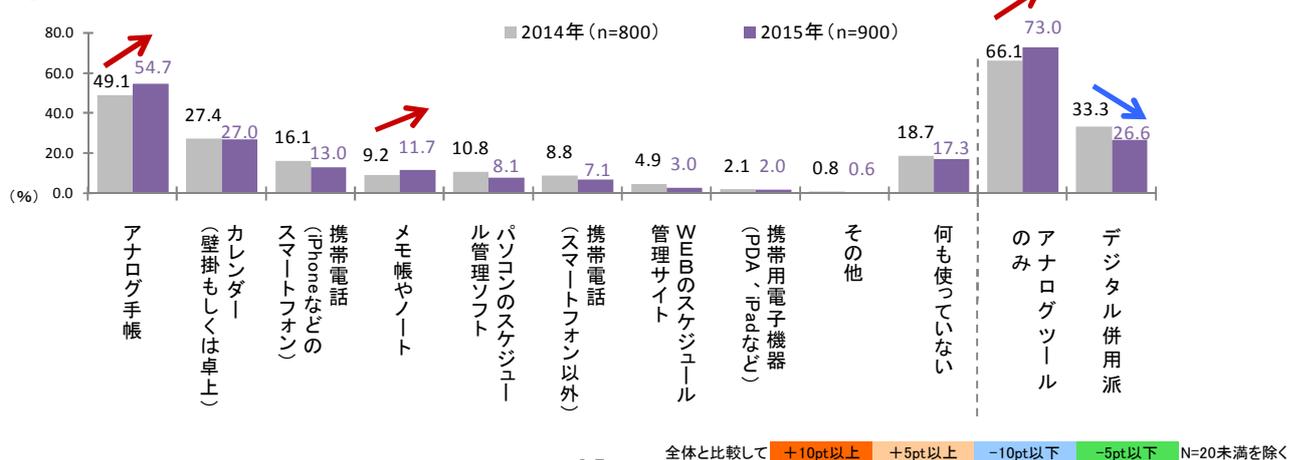
まず、紙の手帳以外に使用しているスケジュール管理ツールを聞くと、「アナログ手帳の使い分け」(54.7%)が最も多く、次いで、「カレンダー(壁掛もしくは卓上)」(27.0%)、「携帯電話(iPhoneなどのスマートフォン)」(13.0%)、「メモ帳やノート」(11.7%)の順となり、手帳やカレンダーなど「アナログツールのみ(手帳+カレンダー+メモ帳やノート)」が73.0%、「デジタルツールと併用(携帯電話+パソコン+webサイト+電子機器)」が26.6%となり、アナログ派が多いことがわかりました[グラフ1-1]。年代別でみると、20代は「携帯電話(iPhoneなどのスマートフォン)」の利用率が高い(23.5%)のに対し、50代(7.0%)60代(4.0%)は低く、逆に60代は「カレンダーの利用」(35.0%)が高くなっています。

昨年と比較すると、「アナログ手帳の使い分け」(14年49.1%→15年54.7%)や「メモ帳やノート」(14年9.2%→15年11.7%)などアナログ利用が増え、アナログツールのみ利用者は14年の66.1%から15年は73.0%と増加。一方、「携帯電話(iPhoneなどのスマートフォン)」(14年16.1%→15年13.0%)や「パソコンのスケジュール管理ソフト」(14年10.8%→15年8.1%)の利用が減少し、2014年には33.3%いた「デジタル併用派」が26.6%に減少しています[グラフ1-2]。

[グラフ1-1]手帳以外に使用しているスケジュール管理ツール(複数回答)(FQ2)



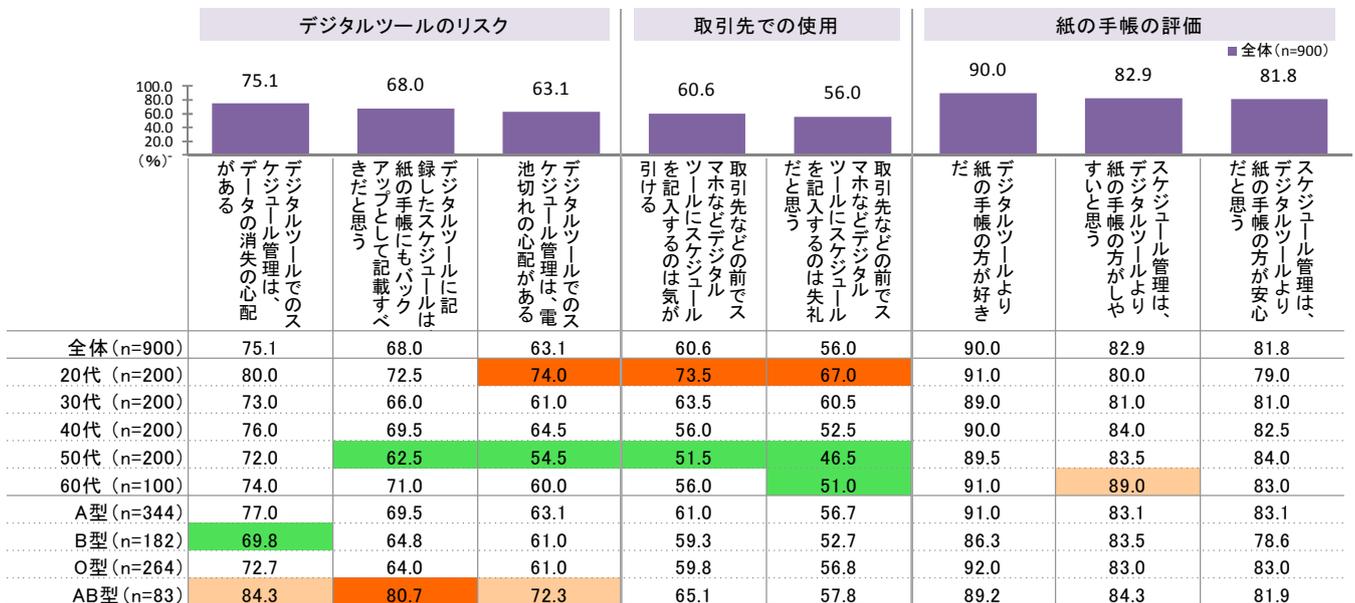
[グラフ1-2]手帳以外に使用しているスケジュール管理ツール前年比較(複数回答)(FQ2)



■「デジタルツールはリスクが高く、取引先の前で使うのは失礼」と思うのは、熟年世代より20代に多い。全体の9割がデジタルより「紙の手帳が好き」とアナログ再評価。

アナログ回帰傾向の中、紙の手帳とデジタルツールに対してどんな考えを持っているのか聞いてみました。デジタルツールでのスケジュール管理に関しては、「データ消失の心配がある」(75.1%)、「紙の手帳にもバックアップを取るべき」(68.0%)、「電池切れの心配がある」(63.1%)など、多くの人々がデジタルツールのリスクを感じています。年代別に見ると、デジタルツールを使いこなしている20代の方が心配度が高めで、特に「電池切れ」(74.0%)に対する心配度が高く、痛い思いをした経験に基づいているようです。血液型ではAB型がリスクに対する心配度がより高くなっています。また、取引先でのデジタルツールの使用に関しては、20代が最も失礼だと感じており、上司世代の50代・60代はさして気にしていないようです。デジタルツールのリスクを反映してか、紙の手帳に対する評価は総じて高く、9割が「デジタルツールより紙の手帳の方が好きだ」(90.0%)と答えています【グラフ2】。

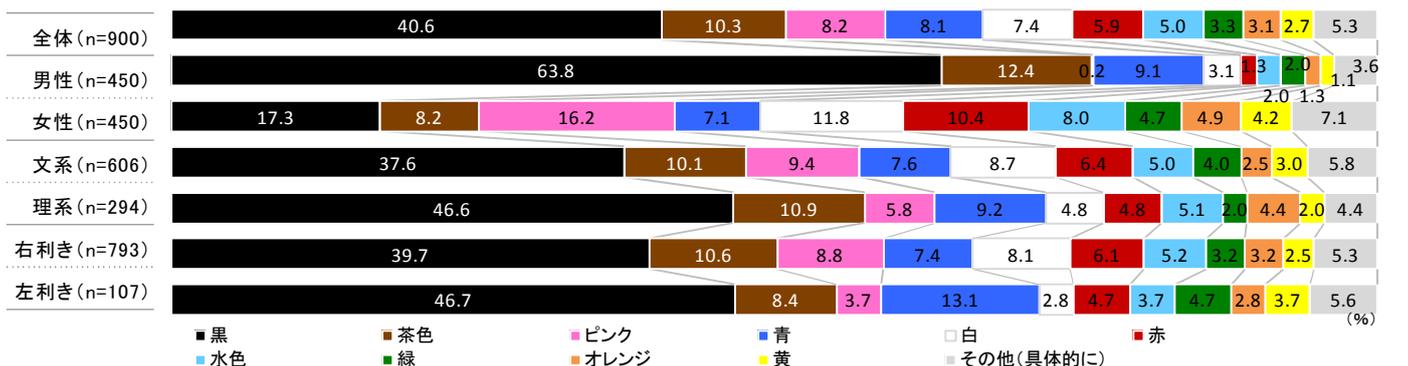
[グラフ2] デジタルツールに対する考え方(Q10)



■理系や左利きに人気の黒や青。知的に演出したいなら手帳はクールカラーを選ぶべし。

現在使用している手帳のカバー(表紙)の色は、「黒」(40.6%)が主流で、男性では63.8%を占めますが、女性では「黒」(17.3%)と並んで「ピンク」(16.2%)も人気です。理系と左利きは「黒」(理系46.6%、左利き46.7%)や「青」(理系9.2%、左利き13.1%)の人气が高く、知的でクールな印象をさらに高めるようです【グラフ3】。

[グラフ3] 使っている手帳のカバー(または表紙)の色(Q3)



調査概要

■調査方法

インターネットリサーチ

■調査期間

2015年7月31日(金)～8月3日(水)

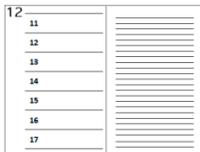
■調査対象者条件

首都圏・近畿圏に居住する、20～60代の手帳を使用する男女

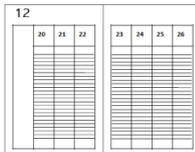
		20代	30代	40代	50代	60代	合計
首都圏	男性	50	50	50	50	25	225
	女性	50	50	50	50	25	225
近畿圏	男性	50	50	50	50	25	225
	女性	50	50	50	50	25	225
合計		200	200	200	200	100	900

■参考:「手帳のタイプ」一覧

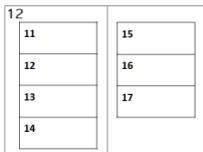
●レフト式 (1週間+横書き)



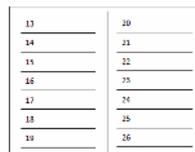
●パーティカル式 (縦時間軸)



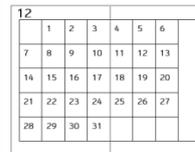
●セバレット式 (見開き1週間)



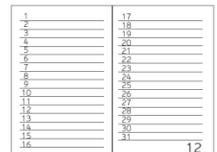
●見開き2週間



●カレンダー式 (月間)



●月間横罫タイプ



●1日1ページ



●1ページ2日タイプ

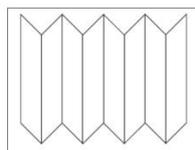


●連用式 (数年単位)



数年単位で複数年の同日を比べられる。

●ジャバラタイプ



●リンクアップ式



十字に仕切られた記入欄があるタイプ。